

ごあいさつ

みなさまには、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここにディスクロージャー誌「第112期営業のご報告(2019年4月1日～2019年9月30日)」を作成いたしましたので、ご高覧いただきたいと思います。

本誌では、決算概要や業務内容、地域貢献に関する取組状況などをまとめ、当行について一層のご理解を深めていただければ幸いです。

地域金融機関を取り巻く経営環境は、人口減少・高齢化の進行による地域経済社会の縮小が懸念され、また、金融緩和政策の長期化や他業種の金融サービス参入による競争激化により、今後更に厳しさを増すとともに、大きく変化していくことが予想されます。

こうした中、当行は、真の顧客本位の業務運営を目指して、2011年より取組んでいる「WIN-WINネット業務(新販路開拓コンサルティング)」を中心に据え、本業支援や各種経営改善支援に積極的に取組むことで、お取引先とのレシジョンをこれまで以上に深めていくとともに、地域経済活性化に貢献してまいります。

今後も『地域に密着し、真に地域の発展に役立つ銀行』を目指してまいりますので、みなさまにおかれましては一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



取締役頭取 齋藤 真一

2020年1月

取締役頭取 齋藤 真一

CONTENTS

- 経営理念・長期経営計画・経営強化計画 …… 1～2
- 当行の考え方 …… 3～5
- 中小企業の経営の改善及び
地域の活性化のための取組みの状況 …… 6～7
- 2019年9月期業績ハイライト(単体) …… 8～10
- 地域とお客様の発展のために …… 11～15
- 組織・ネットワーク …… 16～19
- 資料編 …… 21～58

シンボル・マーク



「南日本銀行」の頭文字「M」をデザイン化したものです。楕円の1つは南日本銀行であり、もう1つは地域を表現しています。

2つの楕円が緊密な結合をし、地域と銀行、お客様と銀行、人と人との密接な関わり、信頼関係、また、銀行内のしっかりした団結をも意味しています。

「M」は変化し、限りなく拡大するイメージを想起させ、互いに寄り添い、シンプルな形状の中にも、銀行の持つ力強さ、未来性が表現されています。

本冊子は銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料(業務及び財産の状況に関する説明書類)です。本資料に掲載してある計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しております。

当行の概要



本店所在地	鹿児島市山下町1番1号
創業	1913(大正2)年9月4日
資本金	166億1百万円
店舗数	本支店64カ店 (本支店61、出張所3)
従業員数	935人 (嘱託・パート・出向者含む)
主要勘定(単体)	総資産 7,987億円 預金残高 7,433億円 貸出残高 5,631億円 (2019年9月末現在)